



Komatsu高校

学校通信

令和6年

2月

学び損なんてないんだよ

2年学年主任 田井 修一

明治維新の礎を築き、多くの優秀な人材を育てたとされる吉田松陰は、その教えの中で「みだりに人の師となるべからず みだりに人を師とすべからず」と言っています。様々な解釈があるようですが、両者の強い思いが一致してこそ初めての師弟関係であるといった意味のようです。一方、論語には「三人行けば必ず我が師あり」と述べられています。三人で行動すれば、必ず自分の手本となる人がいる。よい人を選んでその点を見習い、よくない人については、自分を省みる材料とせよというものです。昨年大河ドラマの主人公である徳川家康も「この世に師ならざるはなし」と言ってすべての人の振る舞いを自分の人生の糧としていました。くどいようですが、松下電器の創始者である故松下幸之助氏は「万物万人 師たらざるはなし」と言って自身の学ぶ気持ちさえあれば世の中の人や物はすべてがその教材となることを語っています。

私は今年6月から62年目の人生を歩むこととなります。今までの人生を振り返ると「少しの成功と多くの失敗の連続」でした。長い人生、進路決定などのように他の人の意見を聞きながらゆっくり、じっくり判断する性質のものと、スポーツの瞬時のプレーや自動車運転など、即時・瞬時の判断が求められることがあります。誰しもが正しい判断を行いたいと思っていますが、時に判断を誤り、ミスをしたり怪我をしたりします。これから長い長い人生を歩いていく皆さんは日常生活の中から多くのことを学び「正しく判断するための引き出し」をたくさん作ってってください。「勝ちに不思議の勝ちあり 負けに不思議の負けなし」は南海・ヤクルト・阪神・楽天で監督を勤めた故野村克也氏の言葉です。私はこの言葉が好きで、失敗したときにその原因を考えるように努めています。また、「武士道といふは 死ぬ事と見付けたり」という有名な一説がある「葉隠」（鍋島藩士の山本常朝口述 同藩士の田代陣基筆録）の中にある「思案七息」という言葉もこれにつながるもので、問われたことに対しては「七つ息をする間に正しい答えを見つけ出せ」といった意味です。難しいことですが、今後の人生もそうありたいと思っています。いわば、「生涯学習」ですね。

私には孫が5人います。上の4人が男の子で、女の子しか育てたことがない私には彼らの行動は奇抜であり、来てくれるのは嬉しいけど家にいる間は冷や冷やの連続です。当然危ないと思えることも平気でします。ある時「そんなことしたら母さんに怒られるよ。」と叱ったのを見ていた妻に「お父さん、叱られるからではなく、何故ダメなのか教えてあげないと。」と言われました。孫に対して普段平気で使っていた言葉なのですが、その表現の未熟さに気付きました。これも一種の学びなのです。この時、妻に対して、いつものように「あつかましい」なんて言わなくてよかったと思っています。むしろ感謝かな。（笑）

堅苦しく考える必要などありません。今まで前からしか見ていなかったものがあるとするならば、後や横、上や下から見ようという気持ちを持って行動してみてください。皆さんの人生が幸多いものでありますよう、これからも多くのことを学び、益々「人間力」を高めていってくださいね。

令和6年 2月行事予定

日	曜	行 事
1	木	校内漢字テスト⑩
2	金	語の日
3	土	土曜課外⑨(1・2年) 男子バレーボール県新人大会(3・4日)
4	日	第38回商業経済検定試験(9:00~9:40 201教室)
5	月	普通科2年インターンシップ(~2/7)
6	火	↑ ↓
7	水	
8	木	推薦入試
9	金	
10	土	公務員模試(1・2年) 進研マーク模試(2年)
11	日	建国記念の日 ↓
12	月	振替休日
13	火	木曜日の授業
14	水	各種委員会
15	木	探究研究発表会(普1年⑦限) 校内漢字テスト⑫ ソロプチキャリアサポート(1-4, 2-4)
16	金	全校集会(家庭クラブ) 第3回人権・同和教育ホームルーム活動(1・2年⑥限) 就職模試(2年)
17	土	土曜課外⑩(1・2年)
18	日	
19	月	1・2年学年末考査発表 クリーンキャンペーン(~2/22) 積水ハウス講義③④限(1-4)
20	火	
21	水	身だしなみ指導(1・2年) ↓
22	木	ソロプチキャリアサポート(1-4, 2-4)
23	金	天皇誕生日
24	土	
25	日	
26	月	1・2年学年末考査(~3/4) 身だしなみ再指導 入試前放送設備点検(15:30~)
27	火	
28	水	養正会入会式
29	木	↓ 卒業式予行

<2024年甲辰の年>

勉強や部活動、将来のために学び続けたことや、実直に育てたり身に付けてきたことが、芽吹くと一気に大きな結果につながる、夢が実現する年です。皆さん飛躍の年にしましょう。